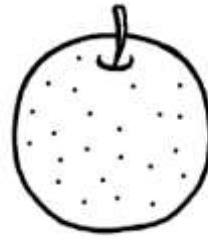




## 秋のお彼岸



残暑厳しい中ですが、  
甘いぶどうや瑞々しい梨を口にするたびに、  
「ああ今年も秋に入ったんだなあ」としみじみ思うこの頃、  
皆様には無事夏を乗り越えられたことと存じます。

心地よい秋風が夏の疲れを癒してくれる今月は  
仏教徒にとって修行期間であるお彼岸を迎えます。  
今年9月23日(土)の秋分の日を中日とし、  
前後7日間9月20日～26日がお彼岸となります。



お彼岸は、私達仏教徒にとって、  
「日頃忙しくてなかなか仏道精進できないものの、  
せめてこの一週間は仏様の教えを守り、心の修行をしましょう」という期間です。  
この7日間、自分なりに仏様の教えに沿った生活を送り、善いおこないを積むことで  
ご先祖様への功德とします。



さて、日常の中でできる修行には  
布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧の6つがあり、  
今年の春彼岸には布施の中の「無財の七施」を  
今までの秋彼岸には持戒・忍辱・精進をご紹介しましたので、  
今回は「禅定」についてご紹介しましょう。

「言うまいと 思えど今日の 暑さかな」  
今年の夏も何度「暑いですね」と言ったかわりませんが  
暑さから逃げたいのは、今も昔も変わりません。  
昔、中国の洞山良价(どうざんりょうかい) 禅師という  
有名な和尚様に対し、修行僧が問答を仕掛けました。



「暑さ寒さを避けるには、どうしたらいいのでしょうか？」  
これに対し洞山良价禅師は  
「暑さ寒さのないところへ行けばいいじゃないか」と一言。  
「その暑さ寒さのないところってどこなんですか？」  
「そりゃあ、暑い時には暑いところで暑がればいい。  
寒い時には寒いところで寒がればいい。  
ど真ん中で、なりきればいい。」

禅宗では「なりきる」「徹する」「三昧」という言葉がよく使われます。  
他のものが入り込めないほど、集中することを指しますが  
これが禅宗の「禅定」を得るための手法です。  
坐禅三昧、坐りきることを修行では第一の方法としますが、  
坐禅でなくとも「なりきる」「徹する」「三昧」の境地に心を置くことができれば  
最終的には何にも動じない揺るがない心「禅定」(悟り)を得ることができます。



修行僧が問うた寒暑とはもちろん単なる暑さ寒さのことではなく、  
心のうちの苦悩煩惱のことです。  
苦しい時辛い時悲しい時、そんな時に  
楽しく笑顔で喜びにあふれていた頃と「比較」するから  
心が不安定になります。  
ただ避けたり、一時逃れするのではなく、どっぴりと徹することで  
心は解放され、禅定を得られると禅師は説いています。

# 大智寺だより

平成 29 年 長 月  
Vol.89

発行所  
大智寺

岐阜市山県北野  
668-1  
電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地  
の水小屋にてご自由にお取り  
いただけます。  
又、当寺ホームページにて  
過去のすべての紙面をご覧いた  
だけます。ご活用ください。

8月号発行部数  
200部

ご愛読  
ありがとうございます

岐阜市咲楽9月号にて  
大智寺をご紹介いただきました

岐阜市内に172,000部、無料戸別ポストに貼られている情報誌「岐阜市咲楽」様の  
9月号特集「非日常を感じたい プチ旅行気分」の中で、  
大智寺が紹介されました。



夏の盛り、何の花も咲かない時期に撮影取材を受けましたが、  
緑まぶしい写真と洗練された紹介文のおかげで  
いつも見慣れた景色が新鮮に感じられる記事となっていました。  
「岐阜市咲楽を見たよ」と  
お参りのお客様に声をかけていただくことも多々あり  
ご縁の広がり感謝致しております。



お盆の棚経、無事終わることができました  
ご協力、ありがとうございました

今年のお盆には、閑栖和尚が熱中症で急に棚経に回れなくなり、  
皆様にはご無理な日程変更・時間変更をお願いし  
大変申し訳ありませんでした。

急なことにも関わらず、皆様の温かいご協力により  
り無事に棚経を予定通り終わることができました。  
本当にありがとうございました。

今年の反省を踏まえ、  
来年からも住職一人でなるべく棚経を回れるよう工夫致します。  
ご迷惑、ご心配をおかけし申し訳ありませんでした。  
今後どうぞよろしくお願い致します。



～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のため ～  
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)

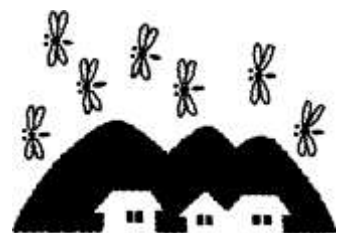
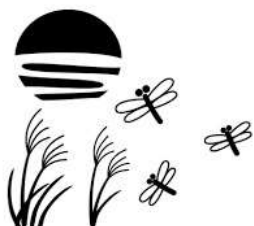
お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc  
わからないこと 質問帳 ③⑤

「仏教をざっくり学ぶ方法ってある？」

お釈迦様が亡くなられた後、そのお言葉を記憶していた弟子達が集まり  
後の世にお釈迦様の教えを正しく残すために書かれたエッセンスが「お経」です。  
だから、仏教（仏様の教え）を学ぶには「お経」を学ぶのが一番の方法です。  
とはいえ、なかなか難しい・・・

ということで作られたのが、「仏教聖典」です。  
この「仏教聖典」は、お経の中から特に重要な部分や親しみのある例え話を抜き出して  
わかりやすい現代の言葉に編集されたものです。  
現在、「仏教聖典」は世界中で46の言葉に翻訳され、64の国と地域で読まれています。

この「仏教聖典」を編集出版している日本の公益財団法人「仏教伝道協会」では、  
世界各国の病院やホテル、学校に「仏教聖典」を寄贈し、仏様の教えを広める活動をしています。  
日本には、真言宗や天台宗、浄土真宗や日蓮宗、曹洞宗や臨済宗、色々宗派がありますが、  
仏様の教えをざっくり学ぶには、「仏教聖典」が最適でしょう。



～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から  
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典  
31 ページより

③7

「此悲しさを誰に告げ 又誰をか恨むべき」

命が絶えて、仏となったものの地獄を歩むとは・・・  
この悲しさを誰に告げ、誰を恨もうか、いや、そんな相手はどこにもいない  
「うらめしや、うらめしや」となるわけですが（笑）

さて、幽霊には3つの特徴があるそうです。  
一つは、おどろ髪を後ろへ長く引いていること  
二つ目は、両手を前へ出して垂らしていること  
三つ目は、足がないこと。



おどろ髪は、済んでしまったどうにもならない過去にとらわれ、ぐずぐずいつまでも引きずる姿。  
前に垂れた両手は、来るか来ないかわからない未来についてあれこれ思い悩みとりこし苦労する姿。  
足がないのは、過去未来にとられるあまり、心が「今ここ、この瞬間」に生きていない姿。

地獄に行く前から、幽霊のように心ここにあらず浮ついている日々、  
「今、ここ」に生きることの大切さをかみしめたいものです。  
そして、過去はともかく今からでも、心を整え地獄に墮ちないように精進したいものです。

今月のひまわり

一雨ごとに残暑もやわらぎ、さわやかな秋の雲が高空を流れていきます。夏の疲れも出ることの時期、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今日の日には重陽の節句を迎えます。この日は菊酒を飲んだり、菊の夜露と香りを綿に含ませ身を清めるなど「菊の節句」とも言われますが、どうして厄除けに菊を使うのでしょうか。能楽「菊慈童」は、菊を厄除けに使うようになった伝説を今に伝えています。

中国 魏の文帝の時代。酈縣山れいけんさんの麓から不老不死の水が湧き出たとの報せを受けた帝は、勅使を派遣します。深山幽谷の中で、勅使はこの山に一人で住む童子と出会います。童子は、周の穆王に仕えていた「慈童」という者だと名乗りますが、穆王といえば七百年も昔の人。驚く勅使に、慈童は証拠として王から賜った枕を見せます。枕には法華経の妙文が書き添えられており、この妙文を菊の葉に書き写したところ、滴る雫が不老不死の靈薬と変じ、今まで生きながらえてきたと語ります。

枕に添えられた「具一切功德 慈眼視衆生 福聚海無量 是故応頂礼」の妙文は、いつも法要でお唱えする妙法蓮華経観世音菩薩普門品偈の最後の方の一節です。「菊の節句」には、菊花を散らしたお吸物や和え物をお供えし、観音様を一心に信じ念じることで、人生のあらゆる苦難、苦厄が除かれると説くこのお経を唱え、厄除けしたいものです。

～ シリーズ いますぐできる精進の味 ～

♪ お寺のぶきっちゃんでも簡単に作れた ヘルシーなお味

パッと華やぐ 蓮餅と菊花の煮物椀

- ① レンコン 300g は荒い目のおろし金ですりおろし、自然に水を切る。
- ② 水気を切ったレンコンに醤油小さじ 1/3、砂糖小さじ 1/3、塩少々、片栗粉小さじ 2 を混ぜ合わせ、中温の揚げ油で揚げる。
- ③ だし汁 600 ml みりん大さじ 1、醤油大さじ 1、塩小さじ 1/2 を合わせて煮立て、菊花をいれて吸い地を作る。
- ④ 器にアツアツの吸い地を注ぎ、蓮餅を入れ、その上に青い柚子皮を飾る。



豪華にする場合は蓮餅の中に銀杏やゆり根を入れたり、大根や人参、春菊など色味を添えます。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

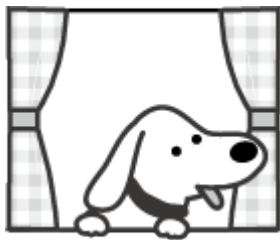
初心者 大歓迎  
東日本大震災物故者追善供養  
毎月 第四日曜日  
定例写経会

今月の日程

9月24日(日) 一回 500円  
(朝8時~9時) (内300円は義援金)  
要申込

8月写経会 備忘録

ようやくひんやりとした風が入ってくるようになった8月の終わりの日曜日。今日もお越しいただきありがとうございました。今回は「亀田鵬斎」という落語をご覧いただきました。正直な屋台のおでん屋さん、自分を見失わず自分を守り生きる姿がさすががすごかったですね。今日鶴屋吉信の京観世と袖餅でほっと一服。いつも後片付けまでありがとうございます。



お釈迦様が生きていた頃  
あんな人、こんな人

第八話 「見えないもの でも、ある」  
クマーラカッサパさん



仏弟子クマーラカッサパさんが500人の比丘とともに、コーサラ国のセータヴィヤーのシンサパー林に滞在していた時のお話。「来世も、善悪の果報も無い」という考えを持った地主の王族パーヤーシさんが、比丘たちを言い負かそうとバラモン達と共にやって来ました。

クマーラカッサパさんは様々な例え話を出しつつ、輪廻思想の重要性を説いて聞かせました。パーヤーシさんがクマーラカッサパさんに食いつきます。

「人間は、肉体が死ぬと同時に心も死ぬんだ。

だから靈魂というものは存在しない。その証拠に靈魂など見たことがない。」

それに対しクマーラカッサパさんは、薪のたとえ話をします。

「ある人が、燃えている薪を見て火の元を見たいと思い、

木を切ってみたが火はなかった。さらに木を割ったけれど火はなかった。

同じように、靈魂は肉体を解剖して探しても、見えない。けれど、あることに変わりない。」

「ある人が、貝の声を聞きたいと叩いたりなでたりしたが、貝は無言だった。

けれどそこに旅僧がきて貝を吹いたところ、きれいな音色が聞けた。

真の靈魂をみるには肉眼ではなく、様々な縁が和合した心眼でないと見えない。」

こうしたパーヤーシさんとクマーラカッサパさんの問答は「パーヤーシ経」にまとめられています。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む  
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めてまずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～  
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、ご予約の上 ご来山ください。